

目指す学校像	生徒一人ひとりの自己肯定感を高め、それぞれの自己実現に向けて、 未来への歩みを進めることができる生徒を育成する。
重点目標	① 全教職員が共通理解のもと、連帯感をもって教育活動を行う学校。 ② 生徒が楽しく登校できる学校、教職員の働きがいがある学校。 ③ 保護者や地域との連携を密にして、よりよい信頼関係を築いている学校。 ④ 教育環境を整備し、安心・安全で心地よく学べる学校。

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
 方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	(8割以上)
成	B	概ね達成	(6割以上)
度	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価	
年 度 目 標					年 度 評 価			実施日令和7年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	【現状】 ○教職員が「報告・連絡・相談」を意識し、情報を共有して生徒指導や教育相談を行っているという理念が理解されている。 【課題】 ○それぞれの教職員のキャリアステージに合わせた、個に応じた効果的な研修を推進する必要がある。 ○教職員を適所適材に配置したり、人材を育成していこうとしたりする意識がやや足りない状況がある。	○情報共有の徹底	①グループLINE等を活用して、生徒の情報や、学校全体で共有したほうがいい連絡事項を、リアルタイムで共有できるようにする。	①グループLINE等を適切に活用しているか。また、教職員の情報共有に対する意識がさらに高まったか。				
		○校内研修で、教員同士の授業参観	①今年度の校内研修で実施する取組だが、教員が互いの授業を参観して、生徒に分かりやすく、質の高い授業を目指す。	①校内で設定している授業を参観し合う回数が、きちんと達成できているか。				
2	【現状】 ○全市の取組である「sola るーむ」の開設など、生徒の個に応じた指導方法を工夫改善していこうという気運が高まっている。 ○教職員が、現在の教育現場の状況や課題について理解している。 【課題】 ○生徒一人ひとりの状況をていねいに把握して、個に応じた指導を組織的に行っていく必要がある。 ○教職員の業務について、均等化されていない現状がある。	○生徒や保護者に、誠実に対応する支援体制の構築	①教育相談部会のメンバーを軸として、ケース会議等を立案・実施する。 ②該当生徒の支援計画の作成、SC・SSWとの情報共有等を確実に行う。	①生徒の学校評価の「楽しく登校している」の項目の数値が、前年度より高まったか。				
		○教職員の働きがいの向上	①在校時間や研究取得状況を意識させ、計画的でメリハリのある勤務体制を目指す。 ②教職員との面談等で、じっくりと話を聞く機会を数多く設定する。	①人事異動調査の満足度の否定的な数値を減少させることができたか。				
3	【現状】 ○保護者や地域との連携については、良好な関係にあると捉えている。 ○保護者等から、学校からの情報発信はともありがたいという声が寄せられている。 【課題】 ○「地域愛」は感じているものの、地域の活動に積極的に参加している生徒が少ない。	○学校と家庭、地域の連携	①学校運営協議会では、生徒と一緒に討論する機会を設ける。 ②地域の清掃活動や行事等への生徒の参加を、積極的に呼び掛け、人数を増加させる。	①学校評価の保護者アンケートにおいて、「地域との協力」に関する項目の数値が、前年度より高まったか。 ②生徒のボランティア活動の参加人数が増加したか。				
		・教育活動の情報発信や条項公開	①昨年度に引き続き、学校のホームページや学校だよりを軸として、生徒や学校の様子について、積極的に情報提供を行う。	①学校評価の保護者アンケートにおいて、「学校からの情報発信」に関する項目の数値が、前年度より高まったか。				
4	【現状】 ○ICT機器の効果的な活用や、教育環境の整備の実施を通して、心地よく学べる学校にしていこうという意識をもって取り組んでいる。 【課題】 ○校舎等の老朽化により、安心。安全とは言えない環境があるので、計画的に整備していく必要がある。	・ICT機器のさらなる活用	①各教科におけるタブレット端末や、スクールダッシュボードの効果的な活用について実践研究を進める。	①生徒の活動において、タブレット端末の活用の機会を増やすことができたか。 ②校内研修等において、ICT機器の活用事例についての情報共有ができたか。				
		・校舎内外の環境整備の充実	①教職員や生徒と一緒に、余裕がある時間帯を活用しながら、校舎内外の修繕や整備を推進する。	①学校評価の保護者アンケートにおいて、「学校への信頼」に関する項目の数値が、前年度より高まったか。				